

各 所 属 長 殿
各 チーム 代表者 殿大分県柔道連盟
会長 穴井 隆信

第41回大分県中学生柔道体重別選手権大会の開催について（案内）

寒中の候、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。平素より本連盟の振興・発展に格別のご理解、ご支援をいただき厚くお礼を申し上げます。

つきましては、標記大会を下記の通り開催しますので、ご多用中のところ誠に恐縮に存じますが、ご参加下さいますようご案内いたします。

記

1, 名 称 「第41回大分県中学生柔道体重別選手権大会」

2, 主 催 大分県柔道連盟

3, 主 管 大分県柔道連盟中学部

4, 期 日 令和8年3月7日（土曜日）

5, 日 程 計 量 8:45 ~ 9:15

審判監督会議 9:15 ~ 9:35

開 始 式 9:45 ~

試 合 開 始 9:55 ~

表 彰 式 (競技終了後)

6, 会 場 『クラサス武道スポーツセンター 武道場』

大分市横尾1351 Tel097-520-0800

7, 競 技 方 法 (1) 男女とも個人戦のみとし、体重別階級制で行う。

(2) 全階級トーナメントで行う。

男子8階級 50kg、55kg、60kg、66kg、73kg、81kg、90kg、90kg超級

女子8階級 40kg、44kg、48kg、52kg、57kg、63kg、70kg、70kg超級

8, 競 技 規 則

- 「国際柔道連盟試合審判規定」及び国内における「少年大会特別規定」による。
- 勝敗の判定基準は、団体戦・個人戦ともに「一本」「技有」「有効」または「僅差（指導差2）」とする。

- 優勢勝ちの判定基準は、「技あり」、「有効」または「僅差」以上とする。ただし、「僅差」は「指導差が2」とする。「指導差が1」以内の場合は、GSにより勝敗を決する。「新たな指導差がついた時点」で試合終了とする。

- 試合時間はすべて3分間とする。GSは無制限とする。

9, 組み合わせ

- 実行委員会で、令和7年度大分県中学校新人柔道大会等の成績を参考にしてシード選手を決定した後、厳正なる抽選を行う。

10, 参 加 料

- 1人につき 800円（保険代を含む）※大会当日受付で納入して下さい。

11, 申込方法 申込は、①メールアドレスに申込書（様式1.2）をデータ送信をする。

※作成は、申込書の記入例を参照すること。

②押印した申込書（様式1.2）を郵送先に送付。

郵送先	〒879-5506 由布市挾間町向原440番地 由布市立挾間中学校 後藤 義治 宛
メール	由布市立挾間中学校 後藤 義治 メールアドレス gotou-yoshiharu@oen.ed.jp

12, 申込期日 令和8年2月9日（月）17:00迄 （期日厳守でお願いします。）

13, 参加資格

①大分県内の中学1・2年生とする。

②参加者は半年（6か月）以上の修業経験を有する者とする。

③参加者は必ず全柔連に登録すると共に、各自で保険に加入していること。

④中学校における監督は、出場校の校長・教職員・部活動指導員とし、教職員・部活動指導員以外のコーチは校長の認めた者とする。監督等については、大分県中学校体育連盟引率細則による。併せて監督は、原則公認指導者資格を持つ者とする。

⑤地域スポーツ団体等の参加については、「大分県中学校体育連盟主催大会に参加を希望する地域スポーツ団体等の条件」を具備すること。併せて「大分県中学校体育連盟地域スポーツ団体等（地域クラブ活動）の参加資格の特例 競技部細則」の条件を満たしていること。

※同一年度内は、年度当初に参加した（登録した）所属チームからの変更を認めない。練習拠点や試合参加に関しても年度当初に参加した（登録した）所属チームで行うこと。

14, その他

①期日以降の申し込みは一切受け付けない。

②応急処置は主催者で行うが、責任は一切負わない。保険の範囲内での補償とする。

③柔道衣（ゼッケンを含む）は、公益財団法人全日本柔道

連盟柔道衣規格に合格した

柔道衣（上衣・下穿き・帯）を着用すること。

※IJF：赤枠 全柔連：赤番号

④貴重品の管理は、学校毎に責任を持って行うこと。

⑤シード順位決定戦を行う。

大分県中学校総合体育大会柔道競技個人戦シード選手の選考とする。

⑥体重の超過・不足については、500gまで認める。それ以上の超過・不足は、失格とする。

⑦エントリーする階級は、県新人大会から変更されてもかまいません。ただし、シード権も関わっていますので県総体出場階級を見据えてのエントリーをお願いします。

⑧脳震盪の対応について指導者及び選手は下記事項を遵守する。

・大会1ヶ月前以内に脳震盪を受傷した者は脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。

・大会中脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。

・練習再開に際しては、脳神経外科の診察を受け、許可を得ること。

・当該選手の指導者は大会事務局及び全柔連に対し、書面により事故報告書を提出すること。

⑨皮膚真菌症（トンズラヌ感染症）について、発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療機関において的確な治療を行うこと。もし、選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会への出場ができない場合もある。

⑩全日本柔道連盟「試合場におけるコーチの振る舞いについて」を厳守すること。

⑪この大会は4月開催予定の九州中学校体重別団体優勝大会（男子4名・女子4名）の選考の一つとする。

